

浄化槽をお使いのみなさまへ

～富士市浄化槽被害状況チェックシート～



【富士市の被害想定】

静岡県第4次地震被害想定によると、南海トラフ沿いで巨大地震が発生した場合、富士市では震度6弱から6強の揺れに見舞われ、東日本大震災のように強弱を繰り返しながら、最大3分から4分間揺れが継続すると想定されています。

また、道路の寸断や電気・ガス・水道等のインフラの停止など、様々な被害が想定され、学校などの避難所では近隣住民が多く集まり、混乱することも考えられます。そこで、災害発生後にも引き続き自宅で生活するために、食料・飲料水等の備蓄とともに災害時のトイレについて備えておくことが重要です。

【浄化槽の状況を各家庭で確認しよう！】

災害発生後も自宅で生活するためには、トイレを確保することが極めて重要になります。断水時でも利用可能な携帯トイレ等を備蓄しておくとともに、水洗トイレ（浄化槽）の使用の可否について、各家庭で確認し判断する必要があります。

このため、富士市では市内浄化槽清掃業者と合同で浄化槽被害状況チェックシートを作成しました。災害時には次ページ以降を参考に水洗トイレ（浄化槽）の使用が可能か確認しましょう。

□■災害時のトイレ事情■□



過去の災害における避難所では、断水や停電、浄化槽が破損したままトイレを使用してしまった結果、便器が大小便であふれ、トイレの衛生環境が悪化し使えなくなるという事例もありました。トイレが不衛生で不快な場合や距離が遠い、寒い、暗い、怖いなど使い勝手が悪い場合には、トイレに行く回数を減らすために水分や食事を控えてしまいがちです。その結果、脱水症状になるほか、慢性疾患が悪化して体調を崩し、エコノミークラス症候群や脳梗塞、心筋梗塞で命を落とすこともあります。

こういった健康被害を防止するためにも、各家庭で浄化槽の使用可否について判断するとともに携帯トイレや簡易トイレを準備し、災害時でもトイレを使用することができるよう備えておくことが大切です。

(参考：日本トイレ研究所ホームページ)